

【表紙】

| | |
|------------|-------------------------------------|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の4の7第1項 |
| 【提出先】 | 関東財務局長 |
| 【提出日】 | 平成29年1月26日 |
| 【四半期会計期間】 | 第50期第3四半期（自平成28年9月16日 至平成28年12月15日） |
| 【会社名】 | 株式会社カワチ薬品 |
| 【英訳名】 | CAWACHI LIMITED |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長 河内 伸二 |
| 【本店の所在の場所】 | 栃木県小山市大字卒島1293番地 |
| 【電話番号】 | 0285(37)1111 |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役管理本部長 小松 順嗣 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 栃木県小山市大字卒島1293番地 |
| 【電話番号】 | 0285(32)1131 |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役管理本部長 小松 順嗣 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） |

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第49期 第3四半期連結 累計期間 | 第50期 第3四半期連結 累計期間 | 第49期 |
|----------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|
| 会計期間 | 自平成27年 3月16日 至平成27年 12月15日 | 自平成28年 3月16日 至平成28年 12月15日 | 自平成27年 3月16日 至平成28年 3月15日 |
| 売上高 (百万円) | 196,492 | 200,714 | 260,624 |
| 経常利益 (百万円) | 4,170 | 5,494 | 5,875 |
| 親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益 (百万円) | 2,495 | 3,383 | 1,975 |
| 四半期包括利益又は包括利益 (百万円) | 2,545 | 3,414 | 1,899 |
| 純資産額 (百万円) | 88,178 | 88,955 | 87,532 |
| 総資産額 (百万円) | 185,812 | 188,171 | 178,794 |
| 1株当たり四半期(当期)純利 益金額 (円) | 107.90 | 147.77 | 85.39 |
| 潜在株式調整後1株当たり四半 期(当期)純利益金額 (円) | 107.83 | 147.70 | 85.34 |
| 自己資本比率 (%) | 47.5 | 47.3 | 49.0 |

| 回次 | 第49期 第3四半期連結 会計期間 | 第50期 第3四半期連結 会計期間 |
|-------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 会計期間 | 自平成27年 9月16日 至平成27年 12月15日 | 自平成28年 9月16日 至平成28年 12月15日 |
| 1株当たり四半期純利益金額 (円) | 30.63 | 43.54 |

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)等を適用し、第1四半期連結累計期間より、「四半期(当期)純利益」を「親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益」としております。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間(平成28年3月16日～平成28年12月15日)におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善を背景に緩やかな回復傾向となったものの、海外経済への懸念等もあり、先行き不透明なまま推移いたしました。個人消費につきましては、実質賃金の緩やかな改善に加え、株高傾向となったことにより一部高額消費に改善の動きが見られたものの、円安傾向にもなる等、先行き不透明感は続いていること等から、底堅くも支出を控える傾向は変わらないまま推移いたしました。

当社グループが属するドラッグストア業界におきましては、小売各社の異業態間の戦いに加え、競合各社の出店増や価格競争の熾烈化が続く等、経営環境は一層厳しさを増しております。

このような中、当社グループでは、強固なエリア基盤構築による更なる優位性の確保と効率化を目的に、ドミナントエリアへの出店を進めるとともに、競争激化に対応するべく販売価格や品揃えの見直しを図る一方、健康や美容に関するカウンセリング機能の強化に努めてまいりました。

新規出店につきましては、既存地区である、栃木県に4店舗、茨城県に3店舗、宮城県、福島県、千葉県、新潟県に各1店舗、計11店舗を出店いたしました。調剤薬局につきましては、福島県に2件、岩手県、山形県に各1件、計4件を既存店に併設いたしました。なお、茨城県の1店舗をリロケーションのため退店し、調剤薬局は岩手県、東京都の各1件、計2件を閉局いたしました。

これにより当社グループの店舗数は、計307店舗(内、調剤併設93店舗)となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,007億14百万円(前年同期比2.1%増)、利益につきましては、セルフレジやLED照明等の導入効果が続いていることに加え、原油安等の影響により光熱費が低下したこと等から販売管理費が抑制されたため、営業利益は45億23百万円(前年同期比40.8%増)、経常利益は54億94百万円(前年同期比31.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は33億83百万円(前年同期比35.6%増)となりました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(3) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 52,000,000 |
| 計 | 52,000,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成28年12月15日) | 提出日現在発行数(株) (平成29年1月26日) | 上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名 | 内容 |
|------|-------------------------------------|-----------------------------|------------------------------------|---------------|
| 普通株式 | 24,583,420 | 24,583,420 | 東京証券取引所 (市場第一部) | 単元株式数 100株 |
| 計 | 24,583,420 | 24,583,420 | | |

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式総 数増減数 (株) | 発行済株式総 数残高(株) | 資本金増減額 (百万円) | 資本金残高 (百万円) | 資本準備金増 減額 (百万円) | 資本準備金残 高(百万円) |
|----------------------------|-----------------------|------------------|-----------------|----------------|-----------------------|------------------|
| 平成28年9月16日～ 平成28年12月15日 | - | 24,583,420 | - | 13,001 | - | 14,882 |

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成28年9月15日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

（平成28年12月15日現在）

| 区分 | 株式数（株） | 議決権の数（個） | 内容 |
|----------------|---------------------------|----------|----|
| 無議決権株式 | - | - | - |
| 議決権制限株式（自己株式等） | - | - | - |
| 議決権制限株式（その他） | - | - | - |
| 完全議決権株式（自己株式等） | （自己保有株式） 普通株式1,802,900 | - | - |
| 完全議決権株式（その他） | 普通株式 22,776,300 | 227,763 | - |
| 単元未満株式 | 普通株式 4,220 | - | - |
| 発行済株式総数 | 24,583,420 | - | - |
| 総株主の議決権 | - | 227,763 | - |

（注）「単元未満株式」の欄の普通株式には当社所有の自己株式12株が含まれております。

【自己株式等】

（平成28年12月15日現在）

| 所有者の氏名又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義所有株式数（株） | 他人名義所有株式数（株） | 所有株式数の合計（株） | 発行済株式総数に対する所有株式数の割合（％） |
|-----------------------|----------------------|--------------|--------------|-------------|------------------------|
| （自己保有株式） 株式会社カワチ薬品 | 栃木県小山市大字 卒島1293番地 | 1,802,900 | - | 1,802,900 | 7.33 |
| 計 | - | 1,802,900 | - | 1,802,900 | 7.33 |

（注）当第3四半期会計期間中に単元未満株式の買取35株及び新株予約権2,500株が行使されたことにより、当第3四半期会計期間末の自己株式数は1,800,447株であり、発行済株式総数に対する所有株式数の割合は7.32%であります。

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成28年9月16日から平成28年12月15日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成28年3月16日から平成28年12月15日まで）に係る四半期連結財務諸表について、東陽監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成28年3月15日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月15日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 25,773 | 30,415 |
| 売掛金 | 2,782 | 2,768 |
| 商品 | 26,718 | 30,551 |
| 貯蔵品 | 23 | 27 |
| その他 | 5,908 | 6,225 |
| 流動資産合計 | 61,207 | 69,987 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 43,813 | 44,524 |
| 土地 | 51,781 | 51,504 |
| その他(純額) | 4,570 | 4,851 |
| 有形固定資産合計 | 100,165 | 100,880 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 643 | 482 |
| その他 | 5,059 | 5,243 |
| 無形固定資産合計 | 5,702 | 5,726 |
| 投資その他の資産 | | |
| 敷金及び保証金 | 8,731 | 8,672 |
| その他 | 2,987 | 2,903 |
| 投資その他の資産合計 | 11,718 | 11,576 |
| 固定資産合計 | 117,587 | 118,183 |
| 資産合計 | 178,794 | 188,171 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 37,823 | 42,373 |
| 短期借入金 | 100 | 200 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 12,400 | 12,699 |
| 未払法人税等 | 1,469 | 1,204 |
| 賞与引当金 | 990 | 1,859 |
| ポイント引当金 | 339 | 368 |
| その他 | 6,174 | 7,694 |
| 流動負債合計 | 59,297 | 66,399 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 400 | 400 |
| 長期借入金 | 22,226 | 22,532 |
| ポイント引当金 | 39 | 42 |
| 退職給付に係る負債 | 5,925 | 6,267 |
| 資産除去債務 | 2,132 | 2,358 |
| その他 | 1,239 | 1,214 |
| 固定負債合計 | 31,964 | 32,815 |
| 負債合計 | 91,262 | 99,215 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成28年3月15日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月15日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 13,001 | 13,001 |
| 資本剰余金 | 14,887 | 14,888 |
| 利益剰余金 | 62,153 | 64,496 |
| 自己株式 | 2,537 | 3,484 |
| 株主資本合計 | 87,505 | 88,902 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 17 | 48 |
| その他の包括利益累計額合計 | 17 | 48 |
| 新株予約権 | 9 | 4 |
| 純資産合計 | 87,532 | 88,955 |
| 負債純資産合計 | 178,794 | 188,171 |

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位 : 百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成27年3月16日 至平成27年12月15日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成28年3月16日 至平成28年12月15日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 196,492 | 200,714 |
| 売上原価 | 155,455 | 158,209 |
| 売上総利益 | 41,036 | 42,505 |
| 販売費及び一般管理費 | 37,824 | 37,981 |
| 営業利益 | 3,212 | 4,523 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 34 | 32 |
| 受取配当金 | 5 | 5 |
| 受取手数料 | 521 | 541 |
| 受取賃貸料 | 490 | 615 |
| 太陽光売電収入 | 182 | 181 |
| その他 | 323 | 195 |
| 営業外収益合計 | 1,558 | 1,570 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 132 | 102 |
| 支払手数料 | 91 | 94 |
| 賃貸収入原価 | 159 | 225 |
| 減価償却費 | 163 | 134 |
| その他 | 52 | 42 |
| 営業外費用合計 | 599 | 599 |
| 経常利益 | 4,170 | 5,494 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 214 | 113 |
| 移転補償金 | 265 | - |
| その他 | 147 | - |
| 特別利益合計 | 627 | 113 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 193 | 84 |
| 固定資産除却損 | 112 | 53 |
| その他 | 33 | 13 |
| 特別損失合計 | 339 | 152 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 4,458 | 5,455 |
| 法人税等 | 1,963 | 2,072 |
| 四半期純利益 | 2,495 | 3,383 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 2,495 | 3,383 |

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成27年3月16日 至平成27年12月15日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成28年3月16日 至平成28年12月15日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 2,495 | 3,383 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 49 | 30 |
| その他の包括利益合計 | 49 | 30 |
| 四半期包括利益 | 2,545 | 3,414 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 2,545 | 3,414 |

【注記事項】

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響額は軽微であります。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用の計算において、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費は、次のとおりであります。

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年3月16日 至 平成27年12月15日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年3月16日 至 平成28年12月15日) |
|-------|---|---|
| 減価償却費 | 3,746百万円 | 3,583百万円 |

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成27年3月16日 至 平成27年12月15日)

配当に関する事項
配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (百万円) | 1株当たり 配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|-----------------|---------------------|------------|------------|-------|
| 平成27年6月12日 定時株主総会 | 普通株式 | 1,040 | 45 | 平成27年3月15日 | 平成27年6月15日 | 利益剰余金 |

当第3四半期連結累計期間(自 平成28年3月16日 至 平成28年12月15日)

1. 配当に関する事項
配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (百万円) | 1株当たり 配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|---------------------|-------|-----------------|---------------------|------------|-----------|-------|
| 平成28年6月7日 定時株主総会 | 普通株式 | 1,041 | 45 | 平成28年3月15日 | 平成28年6月8日 | 利益剰余金 |

2. 株主資本の金額の著しい変動

平成28年4月27日開催の取締役会決議に基づき、自己株式9億99百万円(383,900株)の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が34億84百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成27年3月16日 至平成27年12月15日)

当社グループは、医薬品、化粧品、雑貨及び一般食品等の販売をする小売業を営んでおり、単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成28年3月16日 至平成28年12月15日)

当社グループは、医薬品、化粧品、雑貨及び一般食品等の販売をする小売業を営んでおり、単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| 項目 | 前第3四半期連結累計期間 (自平成27年3月16日 至平成27年12月15日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成28年3月16日 至平成28年12月15日) |
|--|---|---|
| (1) 1株当たり四半期純利益金額 | 107円90銭 | 147円77銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (百万円) | 2,495 | 3,383 |
| 普通株主に帰属しない金額(百万円) | - | - |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期 純利益金額(百万円) | 2,495 | 3,383 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 23,132,766 | 22,899,634 |
| (2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額 | 107円83銭 | 147円70銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益調整額 (百万円) | - | - |
| 普通株式増加数(株) | 13,880 | 11,157 |
| (うち新株予約権(株)) | (13,880) | (11,157) |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当 たり四半期純利益金額の算定に含まれなかった潜在 株式で、前連結会計年度末から重要な変動があった ものの概要 | - | - |

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成29年 1月26日

株式会社カワチ薬品

取締役会 御中

東陽監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 本橋 隆夫 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 中野 敦夫 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 三宅 清文 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社カワチ薬品の平成28年3月16日から平成29年3月15日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成28年9月16日から平成28年12月15日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成28年3月16日から平成28年12月15日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社カワチ薬品及び連結子会社の平成28年12月15日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. X B R Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。